

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名 エネルギーの森整備支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 木質バイオマス産業係 電話番号：058-272-1111(内4390)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,100 千円 (前年度予算額： 4,100 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,100	0	0	0	0	0	0	0	4,100
要求額	4,100	0	0	0	0	0	0	0	4,100
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

住宅着工戸数が今後減少していく見通しの中、「木材のカスケード利用」のみならず、今後のわが国の木材需要の見通し(再生可能エネルギー用途の増加や建築用途の減少)に応じた、燃料材主体でも収益が期待できる多様な森林づくりが必要である。

(2) 事業内容

計画的なエネルギーの森造成を促進するため、エネルギーの森の整備を行う事業者に対し、燃料材の搬出量に応じて経費の一部を助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

【補 助 率】 1 植替え等の準備作業

事業量に3,000円/m³を乗じた額

ただし、現地破碎を伴う場合は、事業量に4,500円を乗じた額

※補助上限：搬出量170m³/ha かつ 補助金算定面積3ha

2 看板設置

補助対象経費の2分の1以内の額

※補助上限：5万円

(4) 類似事業の有無

有 【類似事業】森林環境保全直接支援事業(工種：更新伐)

予算要求事業は、手入れ不足の広葉樹林から主に燃料林材を生産し、更新後は燃料林材へと転換していくことを目的としている(伐採率70%超過)。

類似事業は、育成複層林の造成を目的として行う不用木の除去、不良木の淘汰、支障木やあばれ木等の伐倒、搬出集積を目的としている(伐採率70%以内)。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,825	3,000円/㎡×170㎡×6ha、4,500円/㎡×170㎡/×1ha
報償費	60	研修会講師報償費
旅費	158	費用弁償、講師及び打合せ業務旅費
需用費	35	資料コピー代、事務用品
役務費	6	切手、郵送代
使用料	16	研修会場使用料、高速道路料金
合計	4,100	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画（令和4～8年度）

（C材、D材の搬出促進）

(2) 後年度の財政負担

継続的に必要

(3) 事業主体及びその妥当性

森林所有者、市町村、森林組合、森林組合連合会、林業事業体、木質バイオマス事業者（発電所・熱利用施設・チップ製造等）、森林整備法人その他林業関係者等の組織する団体

県 単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

☐ 新 規 要 求 事 業

☒ 継 続 要 求 事 業

(事業内容)

補助事業名	エネルギーの森整備支援事業費補助金
補助事業者（団体）	<p>森林所有者、市町村、森林組合、森林組合連合会、林業事業体、木質バイオマス事業者（発電所・熱利用施設・チップ製造等）、森林整備法人その他林業関係者等の組織する団体</p> <p>（理由）エネルギーの森の整備に係る経費に支援を行い更には更新後のエネルギーの森造成を実施条件とすることで、広葉樹等の伐採・更新が促進され、木材のカスケード利用のみならず、更新後のエネルギーの森造成が期待できるため。</p>
補助事業の概要	<p>（目的）エネルギーの森の候補地を伐採し、更新後はエネルギーの森へと転換していくことを目的としている。</p> <p>（内容）エネルギーの森の整備を行う事業者に対し、燃料材の搬出量に応じて経費の一部を助成する。</p>
補助率・補助単価等	<p>定額・定率・その他（例：人件費相当額）</p> <p>（内容）</p> <ol style="list-style-type: none"> 植替え等の準備作業 事業量に3,000円/㎡を乗じた額 ただし、現地破碎を伴う場合は、事業量に4,500円を乗じた額 ※補助上限：搬出量170㎡/haかつ補助金算定面積3ha 看板設置 補助対象経費の2分の1以内の額 ※補助上限：5万円 <p>（理由）広葉樹林からの燃料材供給を促進するため、針葉樹人工林と広葉樹林との山元立木価格の差額相当分@3,000円/㎡の価格差を補てんする補助率とした。より多くの事業者に補助するため、搬出量170㎡/ha かつ 補助金算定面積3haを補助上限とした。</p>
補助効果	<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマスエネルギーの利用促進による低炭素社会の構築 県内産の間伐材等未利用木材の利用による地域経済への波及
終期の設定	<p>終期 令和9年度</p> <p>（理由）令和7年度から3か年実施</p>

(事業目標)

- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
- ・ 従来の施業体系に捉われないエネルギーの森づくりを行う森林所有者等の増加。
- ・ エネルギーの森造成を行う林業事業体及び燃料材の搬出利用を行う木質バイオマス事業者の増加。
- ・ 木質バイオマス利用施設への燃料材の安定供給。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①木質バイオマス利用量(燃料用途)(千m3)	128	194	208	250	250	102%
補助金交付実績 (単位:千円)	R4年度	R5年度	R6年度			
	-	-	-			

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	
	指標① 目標: ____ 実績: ____ 達成率: ____ %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標: ____ 実績: ____ 達成率: ____ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標: ____ 実績: ____ 達成率: ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない	
(評価) 3	エネルギー自給率の向上、地球温暖化防止への対応として、再生可能エネルギーの一つである木質バイオマスエネルギーに対する期待が高まっており、事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2: 期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1: 期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0: ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 燃料材を安定的に供給する体制を構築するため、伐採・搬出の作業システムや流通システムにとどまらず、エネルギーの森造成を県内各地域の担い手に普及拡大する必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 木質バイオマスの利用は、環境への貢献のならず、地域経済への波及効果もあり、地域振興にも大きく貢献していることから、引き続き本事業を実施する。
